

# 介助者を守る入浴装置の 安全基準づくりと実証研究報告

病院・福祉施設で使われている入浴装置には、未だ技術指針がなく、実際に大きな事故も発生しています。3年間の研究で、入浴装置に求めるべき事項や介護現場に求める事項などを調査し、技術指針としてまとめました。

今後どのような入浴装置にしなければならないかを、分かりやすく説明します。

## 講師

**岡部 康平 氏**

独立行政法人労働者健康安全機構  
労働安全衛生総合研究所  
機械システム安全研究グループ 情報学博士

労働安全衛生総合研究所は、厚生労働省所管の独立行政法人労働者健康安全機構におかれた研究所であり、事業場における災害の予防並びに労働者の健康の保持増進、及び、職業性疾病の病因、診断、予防その他の職業性疾病に係る事項に関する総合的な調査及び研究を行うことにより、職場における労働者の安全及び健康の確保に資することを目的としています。

当研究所は、本目的の達成のため、理学、工学、医学、健康科学等様々の観点から総合的・専門的に労働災害防止のための調査研究を行い、行政施策の立案・実施に科学技術的側面から貢献するとともに、事業者等において事業場の安全衛生の確保・向上が図られるよう、調査研究等により得られた知見の積極的提供等に努めています。



独立行政法人労働者健康安全機構

労働安全衛生総合研究所

National Institute of Occupational Safety and Health, Japan

2018年  
日時: **4月19日(木)**

午後3時30分~5時

バリアフリー展 2018 (会期:4月19日~21日)

会場: **インテックス大阪 1号館**  
**ワークショップ 第2会場**

南港ポートタウン線「中ふ頭駅」より徒歩5分

\*満席が予想されます。バリアフリー 2018 ホームページ

<https://www.tvoe.co.jp/bmk/regist/beforehand/>  
より、事前登録をお願いします。電話、FAXでもお申し込みを受け付けております。

NPO日本アビリティーズ協会 大阪府大阪市城東区成育2丁目16-15  
電話 06-7711-5780 FAX 06-7653-5101

